

### 池と親しむ

石谷 博子

豊洲小学校の中庭には、池があります。池には小さな橋がかけていたり、周りに大小の石が配置されていたり、樹木が植えられていたりして、庭園のような趣きのある場所です。この池は、平成元年度の百周年記念事業により、整備されたもので、子どもたちにとって、憩いの場になっています。休み



花と草  
池でダンスを  
おどってる  
あめんぼつ  
つかまならないよ  
すばやいな  
池の中  
かえるの合唱  
響き合つ

時間になると、学年を問わず大勢の子どもが池の周りで遊んだり、池に棲む生物をのぞきこん

だりする姿が見られます。

昨年度、PTA作業として保護者の皆さんが池の掃除をしてくださり、大変きれいな池になりました。十月には台風十九号による浸水被害を受けましたが、改修工事をし、今では元の姿に戻っています。子どもたちが作った俳句の中にも、折々の池の様子がうかがえます。これからも子どもたちと一緒に、池と親しんでいきたいと思っています。(豊洲小)



カット 高甫小 田中洋祐

### つながる学校

荒井 裕太

新型コロナウイルスによる臨時休業が続く中、「子どもたちに休業中も安心して生活を送ってほしい。学校とのつながりを感じてほしい」という願いのもとYouTubeでの動画配信を行いました。PTA会長さんからの「休業中も先生方の顔や学校の様子が分かる」と有り難いという思いと手助けもいた

だき、視聴覚係の先生とともに

YouTubeの設定や動画の撮り方、試行錯誤しながら、進めたいきました。最初のお話



と先生方からのメッセージを映したものでした。そこから、「畑でこんなもの植えるよ」「手洗いの大切さ」などを校内の先生方のアイデアをもとに配信しました。各学年・係それぞれで八本の動画を配信することができました。分散登校になり、動画のことも子どもに聞くと「見たいよ」「面白かった」など前向きな言葉が返ってきました。

これらの言葉から、動画配信したことで、休業中の子ども達と学校をつなぐことができたと感じます。また、ネットでの動画配信という新たなツールを用いて、学校と子ども達がつながっていきけるという新たな取組をすることができました。この経験を活かしていききたいと思います。(日野小)

### 学校のシンボル

兼橋 慶一

昨年度の三学期、いよいよ六年生になる子どもたちが学校の敷地内にある、何も手を施していないスペースに注目しました。このスペースは学校に来られる方の目に必ず入る場所で、仁礼小学校にとって大切な場所にならないかと考え、活動を開始しました。



まず、仁礼小学校のマスクottoキャラクターを生み出し、その石碑を建てようと考えました。仁礼の地域の特徴や良さについて考え、意見を出し合いました。『動物がたくさん出ること』『や『生守』『米子の大瀑布』などたくさん意見が出ました。それが、石碑のデザインになりました。次に、楡の木庭園をどのよう

### 編集後記

令和二年度会報「二三二」号を発行し、無事お届けすることができました。お忙しい中、原稿をお寄せいただきまして、会員の皆様へ、心より感謝申し上げます。

皆様からのご意見をいただきながら、より親しみをもち読んでいただける会報を目指して参ります。

- 委員長 西原秀明(井上小)
副委員長 山口美直(須坂小)
事務局 天野道子(須坂支援)
委員 越野智夫(井上小)
山崎香澄(栗方丘小)
山田紀子(高甫小)
竹前とお江(仁礼小)
根岸珠美(相森中)



第232号
発行所 上高井教育会
発行人 上高井教育会理事長 寺島寿一
編集人 会報編集委員長 西原秀明
印刷所 須坂新聞社

### 困難に負けず労苦をいとわず 何事にも前向きに

上高井教育会理事長 寺島 寿一



本年度、一般社団法人、上高井教育会理事長 寺島 寿一 会理事長

を務めさせていただきます。須坂小・須坂支援学校の寺島寿一です。もとより微力ではありますが、職務の重要性と責任を深く認識し、教育会発展のため、深くしていきたいと思っております。皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、上高井教育会は、明治一八年(一八八五年)上高井郡私立教育会として創立され百三十五年目を迎えます。多くの先輩の先生方が大切にされ、そして築きあげてきた「みんなで共につくる教育会」、そして「不易流行」の精神を基に、「子ども

たちとともに自らの力を伸ばす」「職能向上の思いと、「仲間と共に学ぶ」「協働の思いを引継ぎ、発展させていきたいと思っております。一方、新学習指導要領の完全実施に向けた取組や、学校の働き方改革など、子どもたちや、私たちを取り巻く環境は変化しており、従来の方法だけでは、この変化の大きな時代に対応できない状況があります。そんな現実を直面したのが、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学校現場の混乱です。子どもたちにとって一番大切な時間を過ごすはずだった昨年度末の突然の臨時休業。さらに希望に満ちた新学期の出会いとスタートの喜びを感じる間もなく再度の臨時休業と分散登校。

これまで「当たり前であった日常」が「当たり前でない非常」に変わってしまったことに、子どもたち・保護者はもちろん私たち教職員も戸惑っています。新型コロナウイルスを予防し共存をしていくため学校における新しい生活様式の確立と共に、これまで当たり前に行われていた授業スタイルや行事・学校文化の見直し・再構築が求められています。あわせて本年度の上高井教育会の事業についても大きな変更・縮小を余儀なくされています。教育会総集会(中心講師・畔上一康先生の講演)の中止、夏期講演会(春風亭昇乃進さんの講演)の中止、夏休み期間の縮小に伴う同好会の夏期講座開催の見直し等により職能の向上・専門性を高め仲間の輪を広げる機会が減ってしまっています。また、信濃教育会の全県研究大会(日滝小・高山小・高山

中)についても開催の可否が検討されており、今後の状況によっては影響がありそうです。しかし、こういう時だからこそ教育会の存在価値が問われてきます。「中止した事業は来年度もやらなくてもいい」と考えるのではなく、もう一度そのあり方を検討し新たな形を創造していくことが持続可能な上高井教育会になっていきます。郡の研究委員会も見通しが持てない状況ですが、公開授業はできなくても目の前の子どもたちと共に創っていく授業づくりや教材研究は必要です。子どもの学びを最大限保障するために「年間指導計画の再構築」「他の教科と関連づけて扱うことができない内容や題材の研究」「伝統的な学びを実現させる授業展開」等、現場の先生方が悩みを共有し考え、郡全体に発信する研究委員会や同好会活動はできるはずですよ。

- 「予測困難な時代を生き抜く力」は、未来を切り拓いていく子どもたちだけでなく共に学び、育っていく私たち教職員にも求められる力です。その教職員の思いや願いが集まった教育会活動・教育会にしていききたいと思います。(須坂小・須坂支援)

### 教育会だより

- 4 i 各校にて代議員及び信託委員選挙
2 第二回総会
2 新役員の承認
13 第一回理事会
13 教育会会計監査
20 第一回理事会
20 研究委員長会①
20 教研三団体代表者会①
23 教研推進委員会①
23 以降教研集会に因つての会議は中止
23 令和元年度事業報告及び決算承認
23 令和二年度事業計画及び予算承認
5 i ※教育会総集会
研究総委員会 研究委員会 同好会
世長会 同好会発足
22 研究推進委員会②
22 ※上高井賛助会総会
26 新任者教育懇談会 歓迎会
6 5 同好会②
10 第三回理事会
16 第三回総会
16 研究推進委員会③
7 3 同好会③
16 研究委員長会②
20 中心講師 指導
20 上高井教育会報第232号発行
9 3 ※同好会夏期講座
研究推進委員会④
4 同好会④
9 第四回理事会
注※新型コロナウイルス感染症予防対策のため
また、新型コロナウイルス感染症予防対策のため
日程変更もあつた。